

# 会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	令和3年度第3回高松市コンパクト・エコシティ推進懇談会
開催日時	令和3年11月17日（水） 10時00分～11時00分
開催場所	Web 会議
議 題	(1) 高松市住生活基本計画（案）について (2) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	—
出席委員	嘉門会長、高塚委員、森永委員、杉本委員、土井委員、谷口委員、 吉田委員、吉村委員、藤田委員、伊藤委員 (欠席委員 2名)
オブザーバー	国土交通省 四国地方整備局 建政部 都市・住宅整備課 課長 香川県 土木部 都市計画課 課長補佐 (欠席)
傍聴者	1名 (定員 5名)
担当課及び連絡先	都市計画課 TEL：087-839-2455

## 会議経過及び会議結果

### (1) 高松市住生活基本計画（案）について

事務局にて、資料1「高松市住生活基本計画（案）について」の説明

(会長)

ただいまの資料1の説明について、発言があればお願いしたい。

(会長)

他の基本計画では、市民への支援活動を具体的にどうするのか分かりにくいことが多いが、この計画案は、P17 住まいの総合窓口、P18 施策を具体的に見直ししながら新たに進めていこうと、前回の意見からまとめていただいている。

(委員)

数値目標をどう設定するのか悩ましい。P18の目標値設定の数値が細かいが、セーフティネットの登録戸数などの数値は、どこから出てきているのか。

(事務局)

(セーフティネットの説明。)

セーフティネット登録戸数の数値目標の根拠は、市内の全体的な住宅要配慮者の必要戸数から市営住宅で受け持つ数などを引き、セーフティネットとして受け持つ部分を推計している。

市民満足度アンケート調査は、現状からトレンドを追い、年間5%ずつ向上させている。

耐震化・居住誘導は、他の計画で規定されているものを引用している。

マンション管理計画については、次年度認定制度を設ける予定であり、市内に立地するマンション約 400 棟のうち、約半分程度の 200 棟と置いている。

また、空き家バンク、長期優良住宅は、年間 10 件程度向上していくこととし、効果についても年間 0.5% ずつ加算するように設定している。

(委員)

数値と併せて根拠を示していただきたい。

(会長)

目標値の数字が細かいので、市民の人にも分かるよう補足していただきたい。

マンション管理計画について、マンションの年数が経っているのもあるので、整理した方が長寿命化にも貢献するので、今のマンションの築年数棟数と合わせて、適正化を見越した理由もつけて押さえていただきたい。

定住意向と住みやすさの満足度が整合しているのかという疑問が場合によって出てくる可能性がある。

全体としては、半端な細かい数字は丸めた方が良いと思う。

(委員)

総合窓口の設置検討を是非お願いしたい。

コンパクト・エコシティの大切さが思うほど市民に浸透していない。市報の中の記事も見つけにくく、掲載している Web ページにもなかなかたどりつけないので、見やすくし、あきらめないで、広報を継続して欲しい。総合窓口の設置についても、市民の人に知ってもらえるよう広報して欲しい。

(事務局)

コンパクト・エコシティを目指し、引き続き粘り強く進めていきたい。窓口についても、今後精査していきたい。

(委員)

前回と比べて計画案がとても分かりやすくなった。重点施策の居住誘導がこれから必要になってくるだろうが、交通手段が閉ざされていく方も多いので、交通施策との関連性も触れて欲しい。

(事務局)

公共交通を基軸とした、住民の移動手段も含めた形で、より利便性の高いまちづくりに取り組んでいる。各種計画を網羅していくのも難しいが、公共交通も含めて少し記載を工夫していきたいと考えている。

(会長)

今後、コンパクト推進のために、公共交通ネットワークは欠かせない。住生活基本計画と直接関連させるのは難しいかもしれないが、その視点を入れて欲しい。

(委員)

コンパクト・エコシティの概念、何年後を目指しては分かるが、居住誘導地域に誘導するのに忘れてはならない視点は、今現在があるということ。今の住民の暮らしを守りながら緩やかに誘導していくという視点は、市民としては忘れて欲しくない。

(事務局)

現在の生活を否定するものではない。ただ将来においては、人口減で活力が低下するなどもあることから、緩やかに居住誘導を行っていかうとするもの。

御指摘の視点は忘れないよう進めていきたい。

(会長)

10年20年後も、市民が満足して暮らしていけるような、まちづくりを目指していただきたい。

(委員)

環境やSDGsを推進しないといけないなど、時代によって考え方もどんどん変わってきている。単に目先の便利な物を作っても、それが後に廃棄物になっては問題が起きてくる。その時の流れに合うように、この施策も、その時々に応じて、変化をするような考え方でやっていけば良いのではないか。

(会長)

10年計画なので、そこは状況に合わせて計画を修正してやって欲しい。

(1) については以上とさせていただきます。

(2) その他

(事務局から次回の日程等について説明)

以上をもって、今回の会議を閉会することとした。

以上